

公益社団法人 横浜市幼稚園協会発行
〒221-0055
横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス アネックス5F
電話 045 (534) 8708
http://www.kids-yokohama.or.jp
編集 横浜市幼稚園協会広報部
発行者 木元 茂
印刷所 合資会社横浜大気堂

協会報 浜私幼

園長・設置者版

No.264

- ▼第55回 政令指定都市
私立幼稚園団体協議会川崎大会
- ▼横浜市幼稚園協会
園長・設置者 永年勤続表彰
- ▼設置者研修会
- ▼横浜幼稚園就職フェア2015



第55回政令指定都市私立幼稚園団体協議会川崎大会 開催

「すべての子どもの幸せを願って」

川崎日航ホテル

去る平成27年7月9日(木)～10日(金)に第55回政令指定都市私立幼稚園団体協議会川崎大会が川崎日航ホテルに於いて開催された。大会テーマは『すべての子どもの幸せを願って』である。政令市20都市全市が参加し「子ども・子育て支援新制度」施行年の現状を報告し、課題等について協議した。

1. 開会式

来賓として川崎市市長福田紀彦様から祝辞を賜った。幼稚園PTA会長の経歴を持つ市長だけに川崎協会との親密さが感じられ、今大会の盛会が期待された。

2. 基調講演

文部科学省の佐々木徹専門官より『幼児教育の現状と課題について』と題して講演があった。「子ども・子育て支援新制度」の概要などお話をいただいたが、横浜市の施策は保育の質の向上を先取りしていることが良くわかった。

3. 記念講演

声楽家バイマーヤンジンさんから『異国での私の子育て奮闘記』と題してお話があった。チベット出身の彼女の体験談は、生きること、学ぶこと、幸せとは何かなどを聴衆に

問いかける内容で、大変感銘を受けた。私見だが父母セミナーで保護者に聞かせたい講演であった。

4. 分科会

●第1分科会 (各都市行政報告)

「各都市における新制度元年の諸課題(給付・助成処置等について)」

大阪市、堺市を除く18政令市の行政官による報告があった。私立幼稚園の新制度移行は約2割であり、その背景として消費税増税10%先送りによる財源不足が挙げられる。その中で、横浜市の独自助成は保育の質の向上分を先取りした取り組みとして注目された。



●第2分科会(経営)

「新制度移行園の現状と今後の方向性」

神戸市と新潟市の新制度移行状況の報告があり、それを受けて各都市の状況も報告されたが、私立幼稚園の移行割合は低く、私学助成のまま、様子見をしている姿が浮き彫りになった。初めてで、待ったなしの事務作業の煩雑さなどが報告された。

●第3分科会(研究)

「すべての子どもの幸せを願い保育の質を考えよう」

川崎市の保育の質を支える研

究・研修活動の事例報告や、家庭支援の場を含む相談事業の状況報告があった。これを踏まえ、上原文先生による『幼稚園における家庭支援と相談事業 今とこれから』をテーマに講演があった。

●第4分科会(P T A)

「子どものための幼稚園と父母会のかかわり」

最初に川崎市より「子育てセミナー」や父母連大会の開催など、質の高い幼児教育を遂行する報告があった。横浜市からは、父母の会前会長の杉本周子氏より昨年度の父母の会の活動発表があった。

幼稚園大会、各政党への就園奨励補助金等の要望、行政や国・県・市の議員等との新年意見交換会、各支部でのセミナー、協会が発行する協会報への協力等を丁寧に説明し、各都市からも大きな賛同を得た。

5. 閉会式

閉会式は各分科会会場で執り行われ、大会は盛会の内に幕を閉じた。次回は千葉大会を予定している。

(副会長 羽田 哲)

新年意見交換会のお知らせ

横浜市幼稚園協会は平成28年を迎えた新しい年に新年意見交換会を開催いたします。

来賓に林文字横浜市長をお招きし、横浜選出の国会・県会議員の皆様、市会議員の皆様、また養成校の皆様、そして浜市幼の賛助会員の皆様一堂に会し、横浜の子ども達のために、これからの幼児教育を語り合う、有益な意見交換の場としたいと思います。

協会加盟園全園の皆様のご参加をお願いいたします。

日時：平成28年1月26日(火)
午後6時～(受け付け 5時30分より)
会場：ロイヤルホールヨコハマ

賛助会員のご紹介

公益社団法人横浜市幼稚園協会の活動にご賛同いただいた次の方々に賛助会員になっていただきました。

- 有限会社 籠島商事
- 有限会社 西横浜ひかりのくに
- 合資会社 横浜大気堂
- グランコーヨー株式会社
- 株式会社 ビーエスシー

Congratulations

平成27年5月29日(金)横浜市幼稚園協会総会開会前の席上において、横浜市の私立幼稚園に永く勤続し、幼児教育に貢献された園長・設置者の実績を高く評価し、今年度は3名の方が表彰されました。おめでとうございます。

横浜市幼稚園協会
園長・設置者
永年勤続表彰

- 寶 積 利 子 先生(南若宮幼稚園 設置者)
- 高 橋 薫 先生(市ヶ尾幼稚園 前理事長・園長)
- 相 澤 次 郎 先生(舞岡幼稚園 理事長)



平成27年度 第1回 設置者研修会開催

平成27年6月15日(月)
かながわようちえん会館 会議室 / 参加者：61名

テーマ：学校法人会計基準の一部改正について

講師：日本公認会計士協会神奈川県副会長 戸張 実 先生

戸張先生は「子供の数が減少する等様々な私学を取り巻く経営環境の変化を受けて、学校法人の作成する計算書類の内容を一般により分かりやすくし、また学校法人の適切な経営判断に一層資する目的で、今回の改正は行われる。改正後の学校法人会計基準は、文部科学省所轄の大学等は平成27年度の計算書類からだが、知事所轄の幼稚園等は平成28年度から適用される。神奈川県が発行している『学校法人会計処理の手引き』も今回の改正に対応したものが公表されると思う。まずは平

成28年度の予算書から新しい様式のもの適用になる。神奈川県私学振興課からのお知らせ等に気をつけておく必要がある。また会計処理を委託している会計事務所が、今回の改正に精通していない場合も考えられるので、新しくなった手引きや県からのお知らせ等の情報を常に会計事務所に伝達しておく必要があると思う」と話された。

学校法人会計基準の具体的な改正内容についてここでは省略させて頂くが、文部科学省のHPに詳細な改正内容が説明されている。また、

研修会で紹介された会計士の方の個人のブログである『学校法人会計の広場』を参考にしてほしい。このブログはほぼ毎日更新されており、いろいろなカテゴリーの学校法人会計問題等についてQ&A方式で解説されている。

(経営管理部 高良 敏子)



平成27年度 第2回 設置者研修会開催

平成27年9月9日(水)
かながわようちえん会館 会議室 / 参加者：45名

テーマ：新制度へ移行して思ったこと&地域の中の認定こども園の役割

講師：認定こども園捜真幼稚園 園長 寺田 千栄 先生
横浜愛隣幼稚園 園長 佐野 治 先生
認定こども園やつはしキッズ 園長 篠崎 真由美 先生

寺田先生からは、新制度の意義と問題点について話があり、この制度をより良い制度にしていくために、園側として取り組んでいかなければならないことについて話があった。

佐野先生からは、小規模園でも、主に職員処遇改善のために手厚い給付がうけられることや、小規模保育連携事業を導入したいきさつについ

ての話があった。

篠崎先生からは、地域の中で認定こども園が果たす役割がこれからますます重要になっていくことや、子育て支援センターとしての役割も果たしていかなければならないことについて話があった。

(経営管理部 松永 敏秀)



平成27年度 第3回 設置者研修会開催

平成27年10月2日(金)
かながわようちえん会館 会議室 / 参加者：84名

テーマ：マイナンバー制度の基礎知識 ～事業者に求められる実務対応～

講師：株式会社ヒューマンリソースみらい 荒木 秀 先生

2016年1月からのマイナンバー制度導入に対し、幼稚園も対応が必要になることから、多数の園長設置者及び事務担当者の参加の中研修会を開催した。

マイナンバー制度とはどういったことかの基礎的内容を学び、この制度によって変わっていくこと、可能になっていくことの説明をいただいた。さらに制度導入のスケジュールによ

り、今から準備を始めなければならないことを学んだ。マイナンバー制度で事業主が行う届出や発生する業務について、また業務上で留意すべきポイントや教職員への周知の必要性、取り扱いとそのリスク等について説明をいただいた。今後、事業主として必ず必要となるマイナンバーの取り扱いや、個人情報の漏えい等の適切な管理のための「安全管理措置」

を細かく指導いただいた。また、会場からの質問にもお答えいただき、予定時間を超えた研修会となった。

(経営管理部 松永 敏秀)



横浜
幼稚園
就職フェア
2015

熱気あふれる新都市ホール

夏休みも中盤にさしかかった8月9日(日)、そごう横浜9階の新都市ホールにおいて、第1回「横浜幼稚園就職フェア」が開催された。横浜市こども青少年局の後援をいただき、参加園も100園を数え、会場は各園のブースでいっぱいになった。またホワイエには各支部の幼稚園案内パネルが並び、フェアは協会加盟255園全体での取り組みであることが示された。

当日は、10時から出展園の準備が始まったが、初めての試みにもかかわらず、各園とも日頃行っている壁面制作の要領で、ブースのパネルをまたたく間に作り上げた。工夫を凝らした、また園の特徴をよくあらわした見事な展示ばかりで、いずれも自園を積極的にアピールするものに仕上がっていた。保育風景の写真をレイアウトしたものが中心だったが、動物たちのかわいい姿がその周囲に配され、文字もやさしいタッチで、手作りのあたたかさが伝わってきた。これには参加各園の担当者も心んだ様子で、自園のパネルができ上がると他園のパネルを見て歩き、気になる展示に出くわすと足をとめ、思わず言葉をかけてしまうなどのシーンも見られた。

11時30分に開場し、場内は多くの来場者であふれたが、その足並みはしばらく途絶えず、各ブースの担

当者たちは熱心にこれに対応した。パンフレットを読み、関心を持った園のブースに向かう学生の皆さんは未来への期待のためか一様に笑顔いっぱいであった。担当者もこれに応えて、幼児教育について、自園の方針について、さまざまなエピソードを交えながら熱心に説明し、会場はすばらしい熱気につつまれた。学生の皆さんに近い年齢の先生が多く担当していたためか、話題は保育からあちらこちらに移っていくようで、ときおり笑い声も上がり、和気藹々とした雰囲気も感じられた。

ホワイエの特設コーナーにおいては新任教諭によるトークショーが12時半と2時の2回行われ、集まった皆さんは先輩たちの現場の声に真剣に聞き入り、深くうなずく姿が見られた。

最終入場者数は494人であったが、今後早めに関係各方面に連絡し、HPでの案内やポスター掲示などを行うことにより、より多くの皆さんにご来場いただくと考えられる。横浜が全国区であるのは、今回HPを見て兵庫県から訪ねてくださった学生の方がいたことからもうかがえるところである。木元会長は、初めての試みとしては大成功だったと思う、今後も継続していきたい、と述べた。(広報部 岩崎 泉)



トークショー



支部コーナー



免許更新コーナー



編集後記

秋らしい、澄み切った青空が広がっています。外で子どもたちを思いっきり遊ばせたい季節です。さて、皆さまもう運動会も終わったことと思いますが、小さな子どもたちを真ん中に、大勢の大人たちが集まるのはとても大事なことだと思います。シートを敷いて、お隣同士、かけっこに声援を送ったり、お遊戯にはほえみ合ったり、お弁当を広げたりと、にぎやかに過ごしているうち、新しい人とのつながりも出来てきます。こうした和気藹々とした雰囲気は、子どもに人と人とのつながりの温かさを教えます。幼稚園がこうしたコミュニケーションの供給地であることは、とてもすばらしいことだと思います。年度後半も、頑張りましょう。(広報部 岩崎 泉)